

会報

やまばと

(第71号)



発行
社会福祉法人 浄泉会
秦野市渋沢2620-2
TEL 0463(87)1188
発行人 西田精吾

E MAIL
yamabato@galaxy.ocn.ne.jp
URL
<http://yamabato.org/>

平成から令和へ・・・想うこと

通所施設長 横山 和紀

平成から令和へ・・・その瞬間はゴールデンウィーク十連休という初の大型の休日の中、国民一人一人に大変分かりやすく伝わったと思います。

平成の即位式の時は昭和天皇のご崩御を受けて式典も悲しみ包まれる中粛々と執り行われたことを記憶しています。それから三十年間国内外の人々に慕われ、惜しまれつつも自らの進退を決断され、今回の退位、即位の式は本当に明るく、気持ちよく皇太子殿下に志をバトンタッチされた一幕に大きな感動と勇気を与えてくれたように感じました。

私たち浄泉会も平成の時代と共に歩んできました。創業者である岡部忠行氏のご厚志の元、平成元年に社会福祉法人浄泉会が誕生しました。そして平成三年、入所施設「やまばと学園」開設、平成五年に「デイケアセンター」（現やまばと通所センター）の運営、平成十六年ケアホーム「こぼとハウス」、平成二十一年「ピジョンハウ

ス」そして平成二十七年に「やまばとハウス」を開設し、現在やまばとグループホームとして運営しています。同じ時期に相談支援「やまばと学園相談支援事業所」として相談窓口を発足し、「かながわライフサポート事業」「きやうち」へ参画し地域の皆様にもお力添えをいただきながら「やまばと学園信条」の理念のもと、職員一同努力しています。いつの時にも障がい者支援は課題がありますが、令和の時代こそひとつの大きな転換期となるよう一人一人の思いに寄り添い、声を発していける共生社会を築いていきたい。そして、1人の人間として過去の様々な出来事、先達の思いに学びを忘れず誠心誠意努力をしてまいりたい。しかしながらまだまだ力不足でありますので今後とも皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

最後に私が平成五年の入職時に理事長から紹介いただいた詩を一節。

「二度とない人生だから」

坂村 真民

二度とない人生だから

一輪の花にも

無限の愛を

そそいでゆこう

一羽の鳥の声にも

無心の耳を

かたむけてゆこう

二度とない人生だから

まず一番身近な者たちに

できるだけのことをしよう

貧しいけれど

こころ豊かに接してゆこう



主任挨拶
生活支援課主任 石田 綾子

四月より一階もみじ係の主任になりました石田綾子です。

やまばと学園の開設時より勤めやまばと学園の組織が大きくなる間に五人の子供を育ててきました。子育てで手いっぱい私の職場の皆さんはおおらかに見守ってくださいました。いよいよ恩返しの時がやってきました。

これまで上司が抱えてきた多くの仕事の負担を軽く出来るよう努めたいと思います。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

主任挨拶
生活支援課主任 峰尾 俊

この度、三階わかば担当の主任に任命されました峰尾です。

私は、平成二十一年にやまばと学園に入職十年が経ちました。これからも利用者・職員ともども日々、健康で楽しい生活が送れることを目標とし、主任一年目として気持ち新たに努めて参ります。

これからも皆様の「ご指導」ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

主任挨拶
総務課主任 物江 梨江

この度、総務課主任を拝命しました物江です。入所支援課を経て、総務課へ異動となり四年目となります。ようやく総務課の仕事にも慣れて参りました。『国保連請求』

『利用料請求』『給与計算』を現在担当させて頂いております。事務作業は定型的業務の繰り返しの方、毎年の法改正に対応した事務知識、専門知識を習得する必要があり、自分の無知を痛感し自学する日々であります。事務所に鎮座しパソコンと対峙し眉間にしわを寄せている事が多い私ですが、決して怒っている訳ではありません。皆様に気軽に声を掛けて頂けたら幸いです。「コミュニケーション」で最も大切なことは言葉にされないことに耳を傾けることだ」と

いう言葉があります。事務方の後方支援という形でしかご利用者様を始め皆様とコミュニケーションをとる機会がありませんが、耳を傾ける姿勢を忘れずに一歩ずつ進んで参りたいと思います。

今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

チーフ挨拶
地域生活支援課 福田 桂助

昨年の今頃、入所からグループホームに人事異動をして同じようにこの機関紙を書いていました。

この一年はあつという間に時が過ぎさり、利用者さんや我々も歳を重ねていることを忘れてしまっていました。歳を重ねても自身の信念は揺ぎ無いものでありたいものです。挨拶が遅れましたが、この度、チーフ職を授かりました福田です。

昨年は、お店を貸切りにした食事会やハウス内で手作り食事会の企画を試みるなど、チャレンジした一年でした。本年もグループホームの強みを活かした楽しい催し物を考えていきたいと思いたす。また、組織全体のスキルアップを意識し、障害者支援の大切な部分である「思いやり」とその支援技術を伝えられる職員を目指していきます。今後とも宜しく御願

い致します。



やまばと学園の食文化
主任調理員 中野 博

私は福祉の「食」の仕事に長く関わってきました。やまばと学園に来て一年になります。

食堂で利用者さんと一緒に食事をし、食堂の環境、食事介助を含めたサービスマネジメントの食文化を知る機会としています。

皆さんは食事を美味しく召し上がっています。調理する立場としては嬉しい限りですが、適温提供ができていないことを残念に思っています。

私なりに何故できないかを分析をしました。設備が無い、人員配置ができてない現状です。それでも利用者さんは当たり前のように召し上がっています。

『衣』『食』『住』で今年、園は住居環境等の改善工事を実施しています。これを機会に園として適温提供を実現はできないでしょうか。人員の確保が難しい現状では温冷配膳車の導入を実現化したいです。

これからも食を通して利用者さんへ様々なサービスマネジメントの実現を図りたいと思います。

新人職員紹介
生活支援課 丸尾 亜美

四月に入職しました丸尾です。私は実習をきつかけに、やまばと学園に就職しました。初めは、利用者さんとのように関わればよいのか分からず人見知りをしていました。研修で来るたび、少しずつ利用者さんも私が居る環境に慣れてくださり利用者さんと関わる事が好きになりました。ご迷惑を掛ける事が多いと思いますが、これから頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

新人職員紹介
生活支援課 鳥居 はるな

はじめまして。鳥居はるなと申します。通信制の大学で福祉を学んできて、ようやく施設で働くことになりましたが、対応の不手際や認識の甘さに日々反省するばかりです。利用者様の笑顔や先輩職員の親切な指導、家の二匹の猫に癒されながら頑張っています。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

春のバス旅行
生活支援課 山口 隼人

平成最後の四月二十六日にやまばと学園春のバス旅行を実施しました。今回の行き先は、なんと「八景島シーパラダイス」でした。例年よりも、移動距離が長く現地での移動も予想ができない中で、楽しみと不安を抱えての決行でしたが、車椅子乗降可能な大型バスの導入や、細かい職員間の連携、ご家族の協力を通して無事に怪我無く帰ってくる事が出来ました。現地では、食べ放題形式のレストランをはじめに、イルカショーや水族館巡り、お土産購入など時間を忘れてしまいうくらい楽しいひと時を過ごすことができました。特に普段見る事のできない海の生き物たちに利用者様は、興味津津のようで、「あれはなんだろう」「何をしているのかな？」とたくさん疑問を抱かれています。平成最後にふさわしい素敵な外出の思い出です。



平成最後にふさわしい素敵な外出の思い出です。

新車贈呈式
通所支援課長 工藤 淳

皆さん、神奈川県福祉事業協会でご存知ですか？昭和六十年二月に神奈川県遊技場協同組合と関連業界により、社会福祉に貢献する組織として設立された団体です。昭和60年から数多くの社会貢献活動を継続している中で児童福祉施設や障害者福祉施設、老人福祉施設等への支援を目的とした福祉車両への助成があり、今回はやまばと学園を選んで下さりました。車種は日産デイズの軽自動車です。納車日には利用者の方が近くに來られ、「新しい車で外出へ行きたいなあ」と満面の笑みでお話しされていたのが印象的でした。四月二十六日には横浜にあるホテルプラムにて贈呈式に出席しました。



福祉車両贈呈式の様子

奈川福祉事業協会の皆様、有り難うございます。また、現在行われている施設入所（生活棟）工事ですが、十一月末の工事終了予定で進められています。こちらについても、リニューアルという限られた範囲の中で、より快適な生活空間にするため進められていますので、皆様楽しみにしてください。

リニューアル進捗状況
地域支援課長 小室文弘

新年度のスタートと共に秦野市内の桜も一斉に綺麗な花を咲かせ私達の心を和ませてくれました。さて、現在進められているリニューアル工事についてですが、五月末に新浴室棟が完成し無事引渡しとなりました。この新浴室棟の建設については、平成二十五年より設計事務所との打合せを開始し、法人内部でも委員会を設置し、安全で機能的な浴室棟にするため多くの議論を重ね今日に至りました。これから使用していく中で新たな課題等が出てくると考えられますが、職員一丸となり取り組んでまいります。

また、現在行われている施設入所（生活棟）工事ですが、十一月末の工事終了予定で進められています。こちらについても、リニューアルという限られた範囲の中で、より快適な生活空間にするため進められていますので、皆様楽しみにしてください。



ボランティア便り

平成三十一年一月〜令和元年五月 貴重なお時間をさいて、行事等 ボランティアにお越しいただきま した。

○散歩ボランティア

秦野カトリック教会様

ご紹介

ご寄附をいただいた方々のご紹介 平成三十一年一月〜令和元年五月 貴重な浄財をご寄附いただきま した。誠に有難うございました。

○やまばと学園家族会様

○パークシヨングループ

フォーライフ 代表 相原 啓子様

○西湘地域労働者福祉協議会様

○青木 克悦様 ○梶山 浩子様

○戸川 峯雄様 (順不同)

人事昇格・異動

平成三十一年一月〜令和元年五月 平成三十一年四月一日付異動者

石田 綾子 生活支援課

もみじ担当主任

峰尾 俊 生活支援課

わかば担当主任

中野 博 調理担当主任

物江 梨恵 総務担当主任

福田 桂助 地域支援担当チーフ

安藤進太郎 生活支援課

小澤 裕子 通所支援課

内田 光 生活支援課

入職された方 わかば支援

通所支援課

奥津 哲三 (二月 四日付)

地域支援課 相原 友子 (二月 六日付)

地域支援課 山口 文男 (二月 十日付)

総務課調理担当 平柳 香 (三月 一日付)

生活支援課 丸尾 亜美 (三月 一日付)

通所支援課運転士 渋谷 正夫 (四月 一日付)

地域支援課 岩田眞智子 (四月 四日付)

生活支援課 鳥居はるな (五月 一日付)

地域支援課 谷口 繁雅 (五月 二十四日付)

復職された方 横山 大悟 (五月 二十四日付)

総務課栄養担当 菊地 恵子 (四月十六日付)

退職された方

生活支援課 水野夕紀子 (二月三十一日付)

生活支援課 稲葉 文彦 (二月二十八日付)

総務課栄養担当 中村 徳子 (二月二十八日付)

生活支援課 青木 芳光 (二月二十八日付)

生活支援課 篠原 良輔 (二月二十八日付)

総務課法人担当 栗原 延好 (三月三十一日付)

地域支援課 鈴木 忠夫 (三月三十一日付)

生活支援課 増田 彰 (三月三十一日付)

生活支援課 小島 颯人 (三月三十一日付)

社会福祉法人浄泉会

やまばと学園利用者支援「はとの会」

法人設立の趣旨をより効果的に実現する為に、社会福祉諸活動を支援しようとするものです。

障害者の皆様が快適で安心して安全で楽しくアットホームで満足できる生活を送れるよう支援しています。

Table with 2 columns: 会員種類 (法人会員, 個人会員, 賛助会員) and 年額 (1口 20,000円, 10,000円, 3,000円)

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担) どの郵便局でも 00220-5-14491 です。 口座名は 浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」

やまばと学園内 はとの会係担当 〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢 2620-2 Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」の会員・賛助会員を募集しています



編集後記

約十五年ぶりに機関誌の編集に携さわる事になりました。当時は手書きの原稿を印刷屋さんに行きましたが、今はパソコンの編集ソフトに振り回されています。今年には人事異動が多く、異動の挨拶で紙面が埋まっています。次号は紹介しきれなかった方の挨拶や、行事の記事を載せたいと思います。

